

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(50歳代及び80歳代男性)あり、2例ともに感染地域は国内、感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は下痢・粘血便・しぶり腹・腹痛、感染地域は国内、感染経路は経口感染です。本年2例目の報告です。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は尿路感染症、感染地域は国内です。本年2例目の報告です。
- ・ 侵襲性髄膜炎菌感染症の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は頭痛・発熱・全身倦怠感・嘔吐・菌血症、感染地域は国内、感染経路は飛沫・飛沫核感染・接触感染です。本年初めての報告例です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(80歳代男性, 70歳代と80歳代女性)ありました。本年の累積報告数は10例となりました。
- ・ 梅毒の報告が2例(10歳代男性, 30歳代男性)あり(第4週追加報告分含む)、2例ともに感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ インフルエンザが流行中です。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど予防を徹底しましょう。インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
○子どもの感染症2月号「手洗いでウイルスをやっつけよう！」(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>
○インフルエンザの発生状況について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は47.61(3,285例)となり、前週の40.90(2,822例)からさらに増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 28例(肺結核 13例, その他結核6例, 潜在性結核感染者 9例)うち喀痰塗抹陽性 5例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 2例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性髄膜炎菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 10例】
- ・ 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	47.61	3,285
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.33	229
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	54
	③ 突発性発しん	0.47	20
	④ 水痘	0.21	9
	⑤ RSウイルス感染症	0.16	7
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

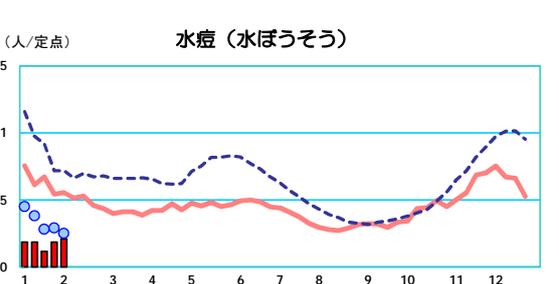
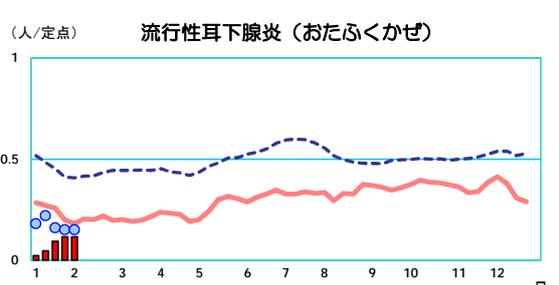
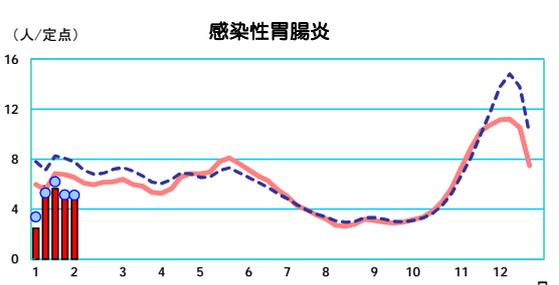
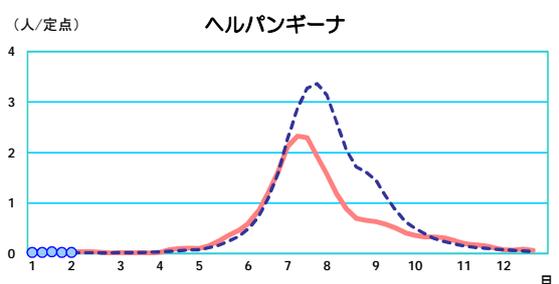
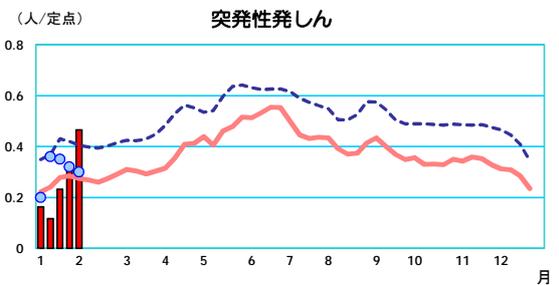
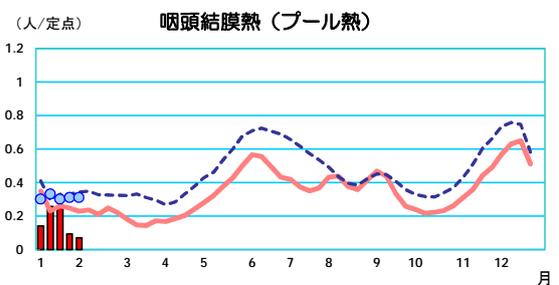
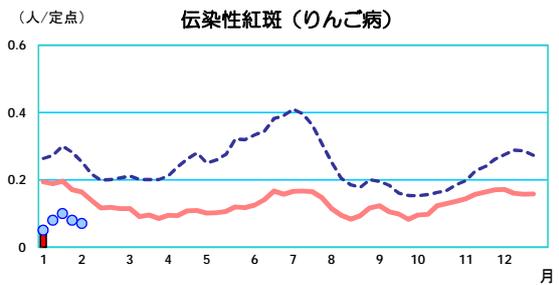
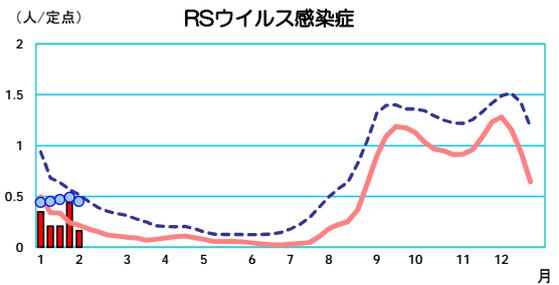
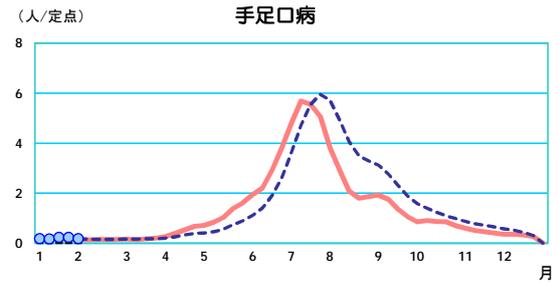
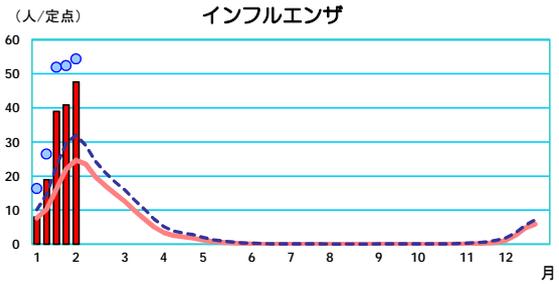
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年2月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第5週(1月29日～2月4日)トピックス: <インフルエンザ>

発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は47.61(3,285例)となり、前週の40.90(2,822例)からさらに増加しました。全国でも54.33となり、報告数が伸びています(図1)。京都市過去5シーズンと本年の定点当たり報告数の推移を見ると、第5週は他のシーズンのピーク時と比べても最も報告数が多く(図2)、さかのぼると1998年(平成10年)に53.18を記録して以来の大流行となっています。また例年「流行シーズン入り」から報告数のピークに至るまでの期間は3～7週間程度ですが、本シーズンは第48週の「流行シーズン入り」から今週まで9週間に至っており、流行期間も長くなっています。

京都市の各行政区別定点当たり報告数を見ると、下京区で報告数が減ったものの、他の10行政区では前週よりも増加し、依然として高い報告数で推移しています(図3)。

京都市の本疾患患者を年齢階層別割合で見ると、冬休み期間中の第1週は5歳から14歳の割合が少なかったものの、登校・登園が始まった第2週以降、5歳から14歳の割合が増加し、第5週ではその割合が全体の5割を超え、学級閉鎖となっているところも数多く見られます(図4)。施設や学校等での集団発生を防ぐためにできる限りの注意が必要です。今後の発生動向に警戒するとともに予防を徹底してください。

症状及び予防

インフルエンザは1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。

受験シーズン、その他イベントの時期でもありますので、感染拡大を防ぐために、咳エチケットや流水・石鹸による手洗い、うがいを徹底してください。また混雑した場所への不要不急の外出は避けてください。

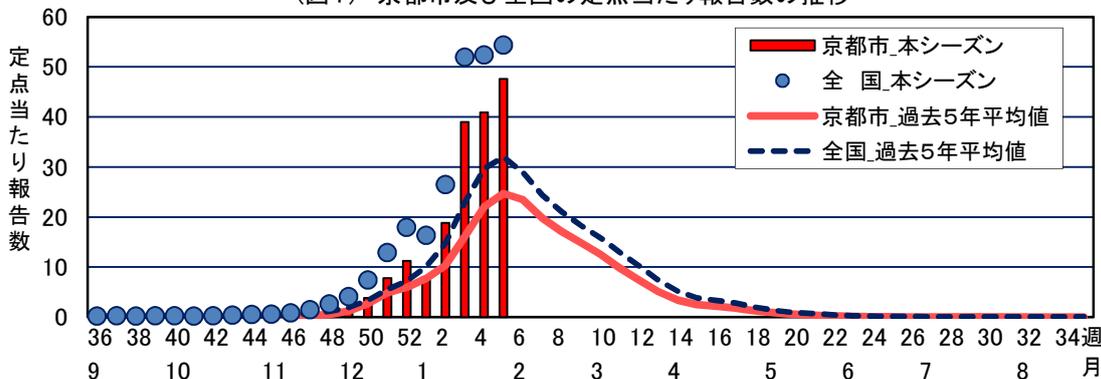
京都市では手洗いについて紹介しています。詳しくは下記URLを御参照ください。

○「インフルエンザ流行中！手洗いでウイルスをやっつけよう！」

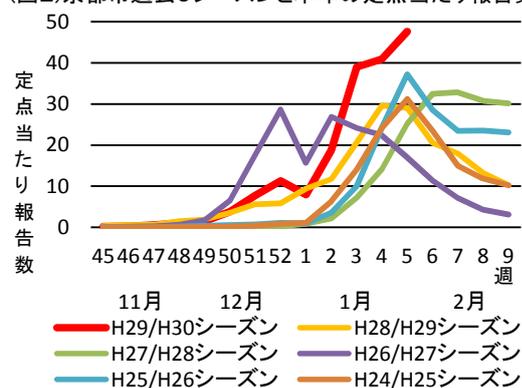
京都市こどもの感染症, 平成30年2月号(PDF形式), (京都市衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

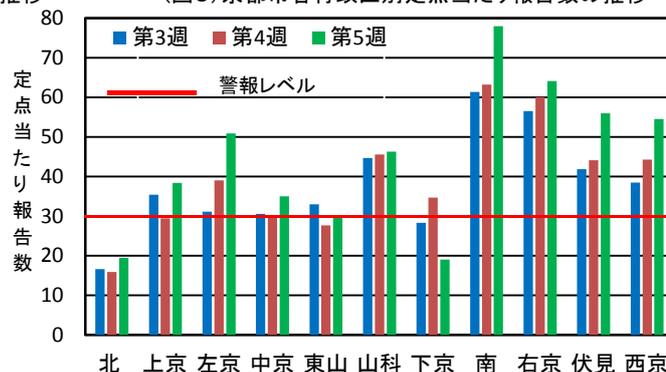
(図1) 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



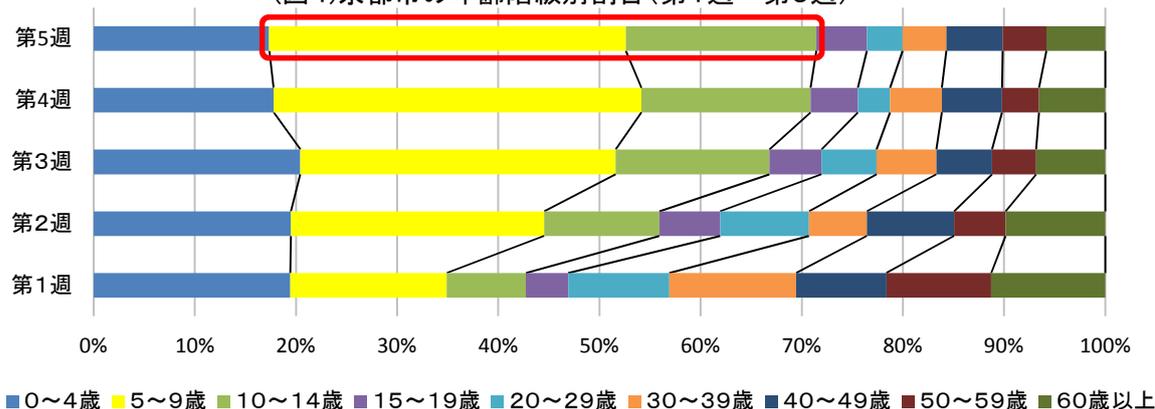
(図2)京都市過去5シーズンと本年の定点当たり報告数推移



(図3)京都市各行政区別定点当たり報告数の推移



(図4)京都市の年齢階級別割合(第1週～第5週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第5週

疾病,行政区別報告数

平成30年1月29日～平成30年2月4日

データ入手日:平成30年2月7日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	136	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	192	-	-	11	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	356	-	-	4	46	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	175	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	90	-	-	1	22	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	324	6	-	1	5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	57	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
南	390	-	-	2	23	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	513	-	-	7	34	5	-	-	5	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
伏見	616	1	3	14	59	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	436	-	-	7	32	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	3,285	7	3	54	229	9	3	-	20	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	19.43	-	-	0.25	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	38.40	-	-	3.67	-	0.33	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	50.86	-	-	1.00	11.50	-	-	-	0.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	35.00	-	-	2.00	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	30.00	-	-	0.50	11.00	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	46.29	1.20	-	0.20	1.00	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	19.00	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	78.00	-	-	0.67	7.67	-	0.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	64.13	-	-	1.40	6.80	1.00	-	-	1.00	-	0.20	-	5.00	-	-	-	-	-	-
伏見	56.00	0.14	0.43	2.00	8.43	-	0.14	-	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	54.50	-	-	1.40	6.40	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	47.61	0.16	0.07	1.26	5.33	0.21	0.07	-	0.47	-	0.12	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第5週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年1月29日～平成30年2月4日

データ入手日:平成30年2月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	3,285	4	30	94	109	131	202	241	273	239	230	175	619	164	116	142	183	142	79	57	55	
RSウイルス感染症	年齢3	7	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		3	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		54	-	-	-	3	6	8	5	10	5	7	1	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		229	2	7	24	27	23	20	22	14	12	8	7	24	9	30	-	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	-	-	-	1	1	1	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		20	-	5	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	47.61	0.06	0.43	1.36	1.58	1.90	2.93	3.49	3.96	3.46	3.33	2.54	8.97	2.38	1.68	2.06	2.65	2.06	1.14	0.83	0.80	
RSウイルス感染症	年齢3	0.16	0.07	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.07	-	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.26	-	-	-	0.07	0.14	0.19	0.12	0.23	0.12	0.16	0.02	0.14	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.33	0.05	0.16	0.56	0.63	0.53	0.47	0.51	0.33	0.28	0.19	0.16	0.56	0.21	0.70	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.21	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.12	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.07	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.47	-	0.12	0.33	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	0.10	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第5週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年2月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	777	550	1,304	2,688	2,822	3,285
RSウイルス感染症	13	15	9	9	19	7
咽頭結膜熱	8	6	11	11	4	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	28	30	49	44	54
感染性胃腸炎	302	106	251	242	220	229
水痘	12	8	8	5	8	9
手足口病	16	6	1	6	10	3
伝染性紅斑	-	2	-	-	-	-
突発性発しん	4	7	5	10	14	20
ヘルパンギーナ	4	-	1	-	2	-
流行性耳下腺炎	2	1	2	4	5	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	2	5	3	5
細菌性髄膜炎 (※2)	1	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,213	730	1,624	3,029	3,151	3,620

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	11.26	7.97	18.90	38.96	40.90	47.61
RSウイルス感染症	0.30	0.35	0.21	0.21	0.44	0.16
咽頭結膜熱	0.19	0.14	0.26	0.26	0.09	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	0.65	0.70	1.14	1.02	1.26
感染性胃腸炎	7.02	2.47	5.84	5.63	5.12	5.33
水痘	0.28	0.19	0.19	0.12	0.19	0.21
手足口病	0.37	0.14	0.02	0.14	0.23	0.07
伝染性紅斑	-	0.05	-	-	-	-
突発性発しん	0.09	0.16	0.12	0.23	0.33	0.47
ヘルパンギーナ	0.09	-	0.02	-	0.05	-
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	0.05	0.09	0.12	0.12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	0.20	0.50	0.30	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)	1.00	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	22.45	12.23	26.49	47.27	48.78	55.78

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。